

■ 投資銀行ビジネス

SMFGでは、三井住友銀行の投資銀行部門およびSMBC日興証券を含むグループ会社の力を結集することで、企業の資金調達・運用、M&A、リスクヘッジ、企業間資金決済など、さまざまなニーズに対し最適なソリューションを提供し、お客さまのビジネス展開や企業価値向上のお手伝いをしています。

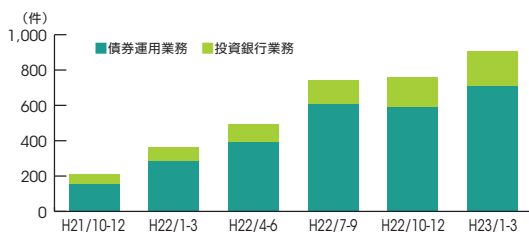
また法人のお客さまのグローバルな事業展開が益々加速し、投資家の裾野がボーダーレスに広がるなか、お客さまの多様なニーズにお応えするため、SMBC日興証券の海外拠点にてM&Aアドバイザリーや債券引受、日本株ブローカレッジなどの業務を開始しました。今後も、グローバルに対応できる業務を拡充し、お客さまの高度な金融ニーズに的確かつ迅速に対応していきます。

SMBC日興証券との連携

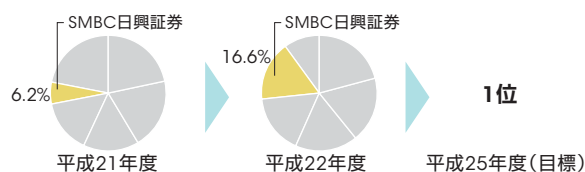
平成23年4月1日に、日興コーディアル証券株式会社はSMBC日興証券株式会社へ商号変更しました。SMBC日興証券は平成21年10月1日付で、三井住友銀行の完全子会社となり、SMFGの中核証券会社として、リテール・ホールセール事業とともに三井住友銀行と連携し、業務を拡大してきました。

平成22年度リーグテーブル(トムソン・ロイター)においては、M&Aアドバイザリー業務で「日本企業関連 公表案件」の第4位(シェア19.2%)、日本社債・引受金額の第5位(シェア16.6%)となりました。今後もより一層の連携を強め、資本市場調達、クロスボーダーM&A、証券化等お客さまの多様なニーズに応えていきます。

SMBCからSMBC日興証券への紹介案件数



日本社債・引受金額 市場占有率※



※出典：トムソン・ロイター(日本社債・引受金額)。平成21年度は分割承継前後を通算。

Topics

◆ 海外拠点での証券業務の拡充

三井住友銀行の子会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社およびSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社は、それぞれロンドンおよびニューヨークで証券業務を開始・拡充しています。また香港・上海については、平成23年1月からSMBC日興証券の100%子会社にてM&Aアドバイザリーなどの業務を開始しました。



平成23年6月30日現在

◆ 環境ビジネス

三井住友銀行は、平成19年10月に環境ビジネスの推進のため、「環境ソリューション室」を設立し、更に、平成22年7月に環境ビジネスを含む4つの成長産業分野※1に対する取り組みを強化すべく、行内に横断組織「成長産業クラスタープロジェクトチーム」を立ち上げました。産官学との連携や国内外のネットワークを通じた情報集約、横断的な行内情報集約・活動支援の強化等を通じて、お客さまにとってのビジネスチャンスの拡大、発掘・創出を中長期的な視点から全行横断的に推進しています。

上記取り組みの結果、シンガポール初の大型排出権プロジェクト(CDM※2)の国連登録実現、ベトナム初の民間水力発電事業に対して、日本貿易保険を活用したファイナンス等を実施しました。これらの取り組みは、英フィナンシャルタイムズ(FT)と国際金融公社(IFC)が実施する2011年「Sustainable Bank of the Year」のCross Regional部門への同行ノミネートにも寄与しています。

※1 「環境」、「新エネルギー」、「水」、「資源」を成長産業クラスターの重点領域としています。

※2 クリーン開発メカニズム(Clean Development Mechanism)